



映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」誕生物語

未来をつくる全ての子ども達へ伝えたい 世界の架け橋となる“思いやりの心”

全国各地で今なおロングラン上映されている映画「ふるさとがえり」を手がけた、ものがたり法人 FireWorks。長年、アジア太平洋の子どもたちの心をつなぐ事業を展開してきた NPO アジア太平洋子ども会議・イン福岡。

その出会いから、映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」という1本の映画が誕生しました。

国、言葉、文化など、世界にある様々な“ちがい(違い)”。考え方や容姿、家庭環境など、身近な暮らしや人間関係の中にある“ちがい(違い)”。時としてそれは、私たちから“思いやりの心”を奪ってしまうのです。

そんな“ちがい”に葛藤しながらも、乗り越えていく感動を伝えてくれるストーリー。

「出会えて嬉しい」「みんな違ってそれがいい」などの、力強いメッセージ。

映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」には、そんなたくさんの“思いやりの心”が込められています。

映画館興業修了を惜しむ数多くの声に応えるために、2014年7月、地域上映会がスタートしました。

